

## 4年生用

## ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 4<sup>th</sup> year students

教員名(Name) : 加藤由崇 (KATO Yoshitaka)

### \*ゼミタイトル Seminar Title

言語と教育（特に英語教育）【応用編】

### \*授業概要 Outline of the contents

言語教育に関する専門書の読解をとおして、日本語・英語双方での読解力を養うと同時に、言語教育およびその研究に関する知識と、実践的な応用に関する理解を深めます。また、「本当に～か」「なぜ～か」といった言語教育に関するみなさん自身の「問い」(puzzle(s))を出発点として授業を展開します。たとえば、以下のような問いを設定し、プレゼンテーションなどを通して探究の成果をクラスで共有しながら、協働的に理解を深めていきます。

(例)

- ・なぜ日本で英語を学ぶ／教える必要があるのか。【目的論】
- ・なぜ英語の教科書には「本文」がある読解中心の教材が多いのか。【教材論】
- ・本当にコミュニケーション中心の授業では文法は身につかないのか。【指導論】
- ・英単語を学ぶ最善の方法とは。【学習論】
- ・本当に英語は早くから学び始めるのがよいのか。【第二言語習得論】
- ・そもそも英語のテストや評価は必要か。【評価論】

2026年度は以下の文献や論文を扱う予定です。

- 中田達也・鈴木祐一（編）（2022）『[英語学習の科学](#)』研究社.
- *ELT Journal, TESOL Quarterly, Language Teaching Research* などに収録された英語論文

### \*授業の形式 How the class is conducted

最初の数回は担当教員が説明を行います。その後は、課題文献の読解内容についての発表や、各自の問いに関する探究成果の共有・議論を行う形で進めます。

### \*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

発表内容とレポート、授業内での議論をもとに判断します。

### \*その他 Others

言語教育に関心があり、「好奇心」に基づいた自主的な学びができる人を歓迎します。